



普通科の1・2年次生を対象とした、課題研究のガイダンスを実施しました。

普通科

本校では、探究科や文理探究科に加え、普通科の生徒も課題研究に取り組んでいます。1年次生は基礎探究A、2年次生は総合的な探究の時間（本校では「NCA」と呼んでいます。）の授業において、研究班に分かれて取り組むため、9月19日（金）に、ガイダンスを年次ごとに開催しました。

1年次生を対象としたガイダンスでは、中間報告会までに準備するスライドやクラス別発表会までに準備するポスターの作製方法、発表時間、発表練習会の開催などについて説明がありました。

また、昨年度課題研究を経験した2年次生を対象としたガイダンスでは、課題を発見する力の向上を目指したリレー探究が行われることや、研究成果を



早速研究テーマを考える普通科の2年次生

まとめたポスターを各種コンテストに出品することなどが説明されました。

これまで普通科の生徒はポスターを手書きで作製していましたが、コンテストへの出品をふまえると、タブレットを用いてポスターを作製することが望まれます。魅力的なポスターを作製するとともに、それぞれの研究班でまとめた意見が伝わる発表を目指して、工夫しましょう。



1年次生



2年次生

ガイダンスに参加する普通科の1・2年次生

探究科の2年次生と科学部の2年次生が、第79回日本人類学会大会で「優秀発表賞」を受賞！

普通科

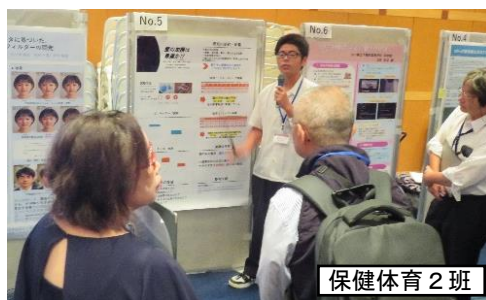
探究科

10月11日（土）～13日（月）にかけて海峡メッセ下関で開催されていた第79回日本人類学会大会において、高校生ポスターセッションが12日（日）に開催され、探究科2年次の保健体育2班の生徒1人と、科学部の2年次生1人が参加しました。本学会で研究されている人類学とは、「生物としてのヒト」を総合的に研究することにより、ヒトとは何かを科学的に偏りなく理解し、実証的で妥当性のある人間観を確立することを目標とされています。

ポスターセッションに参加した保健体育2班の生徒の発表は、髪の毛が果たす役割について研究したもので、市販のストローなどを使って髪の毛をモデル化し、形状や内部の構造などを変えながら繰り返し実験を行い、髪の毛が頭部の保護に役立っていることを導き出しました。学会の先生方による審査が行われ、保健体育2班および科学部の発表とも「優秀発表賞」（3位相当）を受賞することができました。参加した生徒は、初めて参加する学会発表でしたが、学会の先生方から様々なアドバイスをいただき、これから研究を深めるきっかけをつかむことができました。

第79回日本人類学会大会高校生ポスターセッションに参加した研究班とテーマ等

研究班等	研究テーマ	結果
探究科2年次 保健体育2班	髪の毛の加護は最適か！？	優秀発表賞
科学部	防災行動の学習に関する研究	優秀発表賞



保健体育2班



科学部

第79回日本人類学会で発表した生徒

普通科

は普通科を、

探究科

は探究科・文理探究科を対象としたプログラムです。

探究科3年次の生物1班が、サイエンスファーム2025で「奨励賞」を受賞！

探究科

北海道にある酪農学園大学が主催するサイエンスファーム2025に探究科3年次の生物1班がオンラインで参加し、「奨励賞」を受賞することができました。8月2日(土)に開催された本発表会には、生物分野に関わる研究成果を発表する「研究成果発表部門」に29演題、アイデアや構想、興味をもったテーマに関して文献等で調べ、自身の考えを加えまとめた結果を発表する「構想・文献まとめ部門」に58演題が参加していました。



オンラインで発表する、生物1班

研究成果発表部門に参加した生物1班の研究テーマは「アリどうしが仲良くなるのはアリえるか!？」で、アリが相互に行う情報伝達の方法について研究したものです。研究では、容器に入れたアリの様子を観察し、同種のアリでは、触覚を触れ合わせていましたが、異種のアリでは同様の様子を観察できませんでした。また、同種のアリが触覚を触れ合わせる行動にはいくつかのパターンがあったことから、この行動により情報伝達しているのではないかと考察しました。発表会は、オンラインに加え会場での口頭発表も行われ、およそ150人の来場者があったようです。残念ながら現地に赴くことは叶いませんでしたが、大学の先生方に研究成果をしっかりと披露することができました。

探究科3年次の家庭班が、高校生自由研究コンテスト2025で「学部長賞」を受賞！

普通科

探究科

群馬県高崎市にある高崎健康福祉大学が主催する高校生自由研究コンテスト2025に、表に示した14班が、ポスターを出品しました。出品したポスターは、昨年度の総合的な探究の時間(本校では「NCA」と呼んでいます。)等で作製したもので、普通科の3・2年次生および探究科の3年次生は、課題研究の成果をまとめたもの、探究科の2年次生は、夏休みディスカバリープロジェクトの成果を報告するためのものです。

コンテストには、全国から45作品の応募があり、審査の結果、探究科3年次の家庭班が「学部長賞」(2位)を、公民1班が「入賞」(4位相当)を受賞することができました。学部長賞を受賞した家庭班は、洗剤による水質汚濁など、環境問題を解決するため、野菜に含まれる界面活性剤や酵素を用いて、家庭用洗剤を代替する方法について研究しました。様々な野菜のゆで汁を使って、食器についた油汚れなどを洗浄し、汚れが落ちる様子を比較しました。10月18日(土)に行われた表彰式にはオンラインで参加し、改めて研究成果を大学の先生方に披露することができました。

高崎健康福祉大学高校生自由研究コンテスト2025に出品した研究班と研究テーマ等

学科	年次	研究班	研究テーマ	結果
普通	3	2年3組C班	ミミズ生活	
		2年3組D班	水～Water～水の「きれい」を探る	
		2年3組I班	野草で栄養を摂ろう	
		2年4組A班	紙ストローから神ストローへ	
	2	2年4組I班	『水資源』が多い国は、使える水の割合が高いのか	
		1年1組D班	普段は捨てちゃう部分の活用法	
		1年1組G班	食品保存で地元農業の活性化!	
		1年2組E班	泥水を綺麗な水に	
探究	3	公民1班	くずが力ずくで冷やしてみた ～グリーンカーテンとしての葛の利用～	入賞
		英語班	誰もが楽しめる祭りを目指して	
		家庭班	ベジタブルでサステナブル ～野菜に含まれる界面活性剤及び酵素を利用した食器用洗剤について～	学部長賞
	2	1年5組B2班	咀嚼のすゝめ	
		1年6組A4班	コーヒーかすで害虫の退かす!?	

※ 研究班の年次・組は、昨年度のものである。



高崎健康福祉大学高校生自由研究コンテスト2025に出品した2・3年次生



オンラインで参加した表彰式で、課題研究の成果を発表する家庭班

普通科

は普通科を、

探究科

は探究科・文理探究科を対象としたプログラムです。